

関西詩人協会会報

第96号
2020.1.10

発行者 左子真由美

第26回総会報告

日時 2019年11月17日(日)

会場 大阪キャッスルホテル

当日、委員はプログラムや講演資料を冊子に綴ることから始め、活気を得ていたが、開会が近づくほどに参加者が膨らみ、更に熱気が立ちのぼってくるようだった。当日の参加者数101名その内会員79名、外部からの参加は22名だった。

開会挨拶 総合同会 榑次郎

物故者への黙禱(逝去…佐藤勝太・釣部与志・宇田良子・水谷なりこ・津坂治男)

代表挨拶 左子真由美

かつてない多数の参加者で嬉しい。創設以来、年会費4000円で、値上げなしで頑張っています。会の中心に詩を据え、会員の拡大を。

来賓挨拶

日本詩人クラブ理事長 佐相憲一
友好関係を大切にともに歩みたい。来年度創立70周年記念関西大会(5月9日・土)があります。担当は神田さよさん、会員でない人も大いに参加してください。

議長選出 橋爪さち子(拍手で承認)

議事 運営事業報告 藤谷恵一郎

- ①運営委員会 年6回(偶数月国労会館にて)
- ②役員分担変更 釣部与志委員急逝のため

総務 北村真

副総務 名古屋よえ(詩のひろば兼務)

書記 藤谷恵一郎・高丸もと子

詩画展専任 吉田定一

イベント 中西衛

- ③入退会の状況 入会者14名・退会者33名内 逝去6名
- ④会報 年4回92号〜95号発行。山田兼士委員の会員新刊書にたいするコメント、イベントの予告・報告、会員の活動報告(掲載希望者は事務局長まで)
- ⑤年間事業
 - ・会員名簿作成 1月会報とともに配布
 - ・文学散歩 当麻寺を訪ねて 参加者19名
 - ・詩画展 大阪府立図書館 参加者30名
 - ・詩話会 大立図書館会議室 参加者33名
 - ・自選詩集第9集・創立25周年記念誌 参加者126名
 - ・兵庫県現代詩協会と関西詩人協会の交流会「詩で開こう ころと未来を」詩のフリーマーケットあり。参加者69名、当会より38名 次回2022年
 - ・関西詩人協会設立25周年の集い 参加者66名

インターネット・ホームページ報告 松村信人

会員の詩3ヶ月、エッセイ毎月掲載。希望があればその都度活動掲載。詩は関西詩人協会自選集より

会計報告 岩井洋

会計監査報告 瀬野とし会計監査委員

決算報告に瑕疵なく、事務処理の煩雑さを思い、岩井委員に感謝。

議案採決 拍手多数にて承認採決

次年度事業計画案 北村真委員 本年度に準ずる

次年度予算案 岩井洋

- ①第26回総会報告
- ②総会講演記録
- ③総会会計報告/会費納入のお願い
- ④新年の御挨拶・左子真由美代表/総会資料(詩)の転載
- ⑤関西詩人協会25周年の集い報告/冬の詩画展報告/自選詩集&25周年記念誌報告
- ⑥新入会員の紹介/ホームページ報告/本年度の予定(文学散歩/詩画展・詩話会/選挙)
- ⑦日本詩人クラブ「新しい声」募集/ポエトリーディング E.Kono /ポエムカフェ徳島/兵庫県現代詩協会文学紀行/運営委員会の模様
- ⑧会員の活動/《会員が発行または編集する詩誌》/《今後の予定》/《会員の最新詩書》/《団体の会報・図書》

議案採決 拍手多数にて承認採決
講演 以倉紘平氏「現代詩と私」詩の原点について
別欄 報告

自選詩集・創立25周年記念誌出版記念会

まず編集担当を代表して、松村信人委員から経過報告と装丁が略装になった事へお詫び(経過報告が出来なかつた事について)があり参加者6名の会員の自作詩朗読があつた。有馬敲(議事直後に)、猪谷美知子、高丸もと子、小松原恵子、船曳秀隆、美濃吉昭各氏だった。

新会員の紹介 今回欠席は二人だけだったが、この時間に三人席を外しておられた。ずらりと並んだのは壯観で、今後共会に顔を覗かせてほしいと思った。会員の出版した詩書のコーナーでは手に一冊、二冊の本を持って出られた。電子書籍は今風である。又、喋りにくいからと御主人がピツタリと添って出られた田井千尋さん。羨ましいかぎり。31人中18人の出席だった。

閉会挨拶 永井ますみ委員 のち席を懇親会に移した。

懇親会 司会 高丸もと子・田島廣子

乾杯の音頭を最年長の薬師川虹一さんをお願いして、緊張がほぐれ、和やかに夜が更けていった。今回のテーブルは、担当委員が作ったクジを引いて着席した。安森ソノ子さんの「静御前」の舞や田島廣子さんの民謡「房州よいとこ」「令和音頭」を見たり、遠来の人のお話を聞いたり、なによりテーブル毎に賑わっていたのが嬉しかった。懇親会の参加者は52名で、その内外部から3名だった。

(文責:藤谷恵一郎・永井ますみ)